

現任研修実践振り返り＆プランニングシート

福岡県相談支援従事者現任研修の演習 3 日間で議論が脱線するのを防ぎ、修了後の実践に繋げるためのリフレクションシートです。

【事前課題】事例概要エリア(客観的データのみ) ⚠ 脱線防止ブレーキ:事例の様々な事象に引っ張られない! 今行うのは事例解決ではなく各日テーマの「検証」です。

演習 1 日目:意思決定支援 (テーマ:意思決定支援に着目した個別相談支援)	演習 2 日目:チームアプローチ (テーマ:相談援助に求められるチームアプローチ)	演習 3 日目:地域課題・SV (テーマ:コミュニティワーク・スーパービジョン)
(1) 本人が選択を迫られている「場面」は？ (例:入所か在宅か、どのサービスか等)	(1) 関係図(エコマップ)の構造上の特徴は？ (キーパーソンとの距離、対立、途切れ等)	(1) 背景にある「資源不足」や「制度の隙間」は？ (例:夜間事業所がない、移動手段がない等)
(2) 「表明された意向」と「本音」のズレは？ (例:言葉と表情・態度の矛盾など)	(2) チームの「共通目標」は揃っているか？ (各職種がバラバラな方向を向いていないか)	(2) 同じように困っている人は地域に他にいないか？ (個別事例を地域全体の課題に広げる)
(3) 周囲の都合(介護負担やリスク回避)が優先されていないか？ (家族の希望や支援者の都合が混ざっていないか)	(3) 不足しているインフォーマルなつながりは？ (近隣、友人、趣味、制度外の資源など)	(3) 自分が SV(助言)を受けたいスキル・感情は？ (自分が壁にぶつかった専門性はどこか)
🔑 本人の意思決定を阻む【最大の障壁】は？	🔑 連携不足の原因(どこのパイプの詰まり)？	🔑 自立支援協議会に上げる【地域課題名】は？

【各日研修修了後】明日からのケース実践・向き合いプラン(演習終了時に記入)

※単なるサービス調整ではなく、3 日間で学んだ「メタ視点(客観的な目)」を実際のケース支援にどう還元するかを言語化します。

① 意思決定支援の視点から (例: 次回の面接では本人の本音を聴くために、あえて家族と離れる時間を作る等)	② チームアプローチの視点から (例: 詰まっているパイプを解消するため、〇〇事業所と個別に意向をすり合わせる等)	③ 地域課題・SVの視点から (例: この事例に似たケースの資源不足について自立支援協議会で情報提起する等)
--	--	---

🚀 明日から実行する「最初の一步(Next Action)」

私は、研修修了後に、このケースに対してまず〔 〕を実行します。